CASBEE埼玉県.xlsx 結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)



- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版(仮称) DPL久喜宮代新築工事
■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
□ はいます。 (本の) はいます。 (本の) はいます。 (本の) ではいます。 (本の) はいます。 (本の) はいます。

スコアシート 実施設計段階				E-BD_IN	_	
配慮項目	記慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
。 建築物の環境品質			171.30		DK 93.	3.1
1 室内環境			0.31		-	3.1
1 <mark>音環境 </mark>		3.2	0.15	-	-	3.2
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	-	-	
1.2 <u>遮音</u>		3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-	-	-	-	
よう 3 場合 は、天井の二面に吸う	百州を使用している	4.0	0.20	-	-	
2 温熱環境		2.1	0.35	-	-	2.1
2.1 室温制御		3.2	0.50	-	-	
1 室温	3W/(㎡K)/外壁U:2.53W/(㎡K)	3.0	0.38	-	-	
	SW/(IIIK)/外壁U:2.53W/(IIIK)	4.0	0.25		-	
3 ゾーン別制御性 20 沿の は (20) 日 か (20)		3.0	0.37		-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30		-	
3 光•視環境		3.8	0.25	•	-	3.8
3.1 <u>昼光利用</u> 2.0%≤事務所昼光率	3 ∕ 2 50⁄a	3.6	0.30	-	-	
. 2701	<u>- </u>	4.0	0.60		-	
2 方位別開口		*	-		-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御 3.3 照度 500lx≦照度<1000lx		3.0	1.00	-	-	
		4.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御 照度センサー(タイムスケシ・	1-ル筬形りさ)	5.0	0.25	•	-	
4 空気質環境		4.0	0.25	-	-	4.0
4.1 発生源対策 内装材のほぼ全面的 内装材のほぼ全面的	U-C-人-人-大位田	4.0	0.50	-	-	
1 101771119	に下れれれなど休用	4.0	1.00		-	
4.2 換気	나는 나는 두 등	4.0	0.30	-	-	
1 換気量 必要換気量×1.4≦設	Z訂揆 刘里	5.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能	のない方位かつ6m以上離れて設置	3.0	0.33		-	
- IN A A LOAD AND A HOWEN	のない方位かり0m以工権化で改直	4.0	0.33		-	
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視 R の は (4) R の たりなり	、 屋外喫煙スペースを設置	3.0	0.50		-	
2 <mark>喫煙の制御 </mark>	一座が安屋が、人を設置	5.0	0.50 0.30	-	-	3.8
z りーこへ圧能 1 機能性		3.2	0.40			3.2
1.1 機能性・使いやすさ		2.6	0.40	-	_	5.
1 広さ・収納性		1.0	0.33		_	
2 高度情報通信設備対応 OAコンセント容量40VA/	ಗೆ U.F	4.0	0.33			
2 同及情報過信設備列心		3.0	0.33	-		
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30	-	_	
1.2 心程は 大過日 1 広さ感・景観 事務所天井高 = 2.7m	以上	4.0	0.33		_	
・一周と心水の	〜ー のリフレッススぺースの確保+自動販売機の設置		0.33		_	
3 内装計画		1.0	0.33		_	
1.3 維持管理		4.0	0.30		_	
1 維持管理に配慮した設計 壁や床に防汚性の高	い建材を採用等	4.0	0.50	-	_	
2 維持管理用機能の確保 清掃が容易な設計等		4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		4.2	0.30	-	-	4.
2.1 耐震·免震·制振		5.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ) 耐震等級3		5.0	0.80		-	
	物全体の保護が図られている	5.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.9	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
	表系塗装鋼板)30年以上	5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔 一般:亜鉛鉄板、多温		4.0	0.10	-	-	
5 空調·給排水配管の更新必要間隔 主要な用途上位3種の	D2種以上にB以上を使用し、Eは不使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-	
		3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				····		
1 空調・換気設備	系統の区分、受水槽に蛇口設置	4.0	0.20		-	
1 空調·換気設備 2 給排水·衛生設備 省水便器採用、配管:	系統の区分、受水槽に蛇口設置		0.20 0.20		- -	
1 空調・換気設備 2 給排水・衛生設備 省水便器採用、配管	系統の区分、受水槽に蛇口設置	4.0		-	- - -	

CASBEE埼玉県.xlsx スコア

	41 -4- to		Let						
3,		生更新			4.2	0.30	-	-	4.2
	3.1	空間の			5.0	0.30	-	-	
			階高のゆとり	事務所·工場階高=3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
		-	空間の形状・自由さ	壁長さ比率く0.1	5.0	0.40	-	-	
		. 荷重σ		工場積載荷重:4500N/㎡以上	5.0	0.30	-	-	
	3.3		更新性		3.0	0.40	-	-	
			空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
		2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
		3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
		4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
		5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
			バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3	室外I		效地内)		_	0.39	-	-	2.7
			スプラブ スプログラス スプログラス スプログラ スプ		2.0	0.30		_	2.0
_			ペエ <u>これ出</u> 観への配慮		3.0	0.40	-	_	3.0
					3.0	0.40	-	-	3.0
l ³r								-	3.0
			への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
			温熱環境の向上		3.0	0.50	•	-	
			環境負荷低減性			-		-	3.9
LR1	エネノ	ルギー				0.40	-	-	4.3
1	建物タ	外皮の熱	热負荷抑制	BPIm=0.79	5.0	0.20	-	-	5.0
			一利用		3.0	0.10	-	-	3.0
			の高効率化	[BEI][BEIm] = 0.48	5.0	0.50	-	-	5.0
		<u>////</u> 的運用	- 1-9100 10		2.5	0.20		-	2.5
	νν1 - -		 三宅以外の評価		2.5	1.00			2.0
			モニタリング		3.0	0.50	·	-	
			運用管理体制		2.0	0.50	-	-	
			宅の評価			-	-	-	
			モニタリング			-	-	-	
		4.2	運用管理体制			-	-	-	
LR2	資源:	-マテリ			_	0.30	-	-	3.9
		原保護			3.4	0.20		-	3.4
i i		節水		省水型便器、自動水栓、泡沫水栓、節水コマの採用	4.0	0.40	-		
			 用・雑排水等の利用		3.0	0.40			
	1.2						-	_	
					\sim	0.70			
			雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
		2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2		2 生 性資 源	雑排水等利用システム導入の有無 原 の使用量削減				-	- -	4.2
2		2 生 性資 源	雑排水等利用システム導入の有無	Fc=36かつSD390、490級鋼材、冷間成形角形鋼管の使用	3.0	0.30	-	- - -	4.2
2	2.1	2 生性資源 材料使	雑排水等利用システム導入の有無 原 の使用量削減	Fc=36かつSD390、490級鋼材、冷間成形角形鋼管の使用	3.0 4.2	0.30 0.60	- - -	- - - -	4.2
2	2.1 2.2	2 生 性資源 材料使 既存建	維排水等利用システム導入の有無 原の使用量削減 更用量の削減	Fc=36かつSD390、490級鋼材、冷間成形角形鋼管の使用 電炉鋼材(大梁)	3.0 4.2 4.0	0.30 0.60 0.10	-	- - - - -	4.2
2	2.1 2.2 2.3	2 生性資源 材料使 既存建 躯体材	雑排水等利用システム導入の有無原の使用量削減 同用量の削減 整築躯体等の継続使用 対におけるリサイクル材の使用	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプスロープ下)/ビニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ボード類(天	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20	- - - - -	- - - - -	4.2
2	2.1 2.2 2.3 2.4	2 主性資源 材料使 既存殖 躯体材	雑排水等利用システム導入の有無原の使用量削減 原用量の削減 整築躯体等の継続使用 対料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用	電炉鋼材(大梁)	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0	0.30 0.60 0.10 0.20		- - - - -	4.2
2	2.1 2.2 2.3 2.4	2 主性資源 材料使 既存殖 躯体材	雑排水等利用システム導入の有無原の使用量削減 同用量の削減 整築躯体等の継続使用 対におけるリサイクル材の使用	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプスロープ下)/ビニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ボード類(天 井)	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20	-		4.2
2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5	2 主性資源 材料使 既存建 躯体材 躯体材	雑排水等利用システム導入の有無原の使用量削減 原用量の削減 整築躯体等の継続使用 対料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプスロープ下)/ビニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ボード類(天	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20			4.2
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6	2 材料使 既存建 躯体材 躯体材 ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	雑排水等利用システム導入の有無原の使用量削減 同用量の削減 整築躯体等の継続使用 対料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 間能な森林から産出された木材 可再利用可能性向上への取組み	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプスロープ下)/ビニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ボード類(天 井)	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10		-	3.6
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	を 主性資源 材料使 既存する 躯体材 持続可 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	雑排水等利用システム導入の有無原の使用量削減 運用量の削減 整築躯体等の継続使用 対料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 関係な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 質材料の使用回避	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプスロープ下)/ビニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ボード類(天 井)	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20			
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	2 材料使 既存植 躯体材 静赫材 物質含	雑排水等利用システム導入の有無原の使用量削減 原の使用量削減 原用量の削減 整躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 「能な森林から産出された木材 の再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 関質を含まない材料の使用	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプスロープ下)/ビニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ボード類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.20 0.30	- - - - - - - -	- - - - - - - -	
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	2 材料付 既解体材 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	雑排水等利用システム導入の有無原の使用量削減 使用量の削減 整築躯体等の継続使用 対におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 がはな森林から産出された木材 の再利用可能性向上への取組み が料の使用回避 でで含まない材料の使用 ・ハロンの回避	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプスロープ下)/ビニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ボード類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20			
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	2 対対は 対対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対	雑排水等利用システム導入の有無原の使用量削減 運用量の削減 運無を等の継続使用 対料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 間能な森林から産出された木材 可利用可能性向上への取組み 質を含まない材料の使用 でである。 では、対料の使用の避 でである。 では、対料の使用の避 でである。 では、対料の使用の避 では、対料の使用の避 では、対料の使用の避 では、対料の使用の避 では、対料の使用	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプスロープ下)/ビニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ボード類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 4.0 3.6 4.0 3.5	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70			
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	2 対料は が	雑排水等利用システム導入の有無原の使用量削減 開量の削減 整躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等)	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプスロープ下)/ビニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ボード類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 4.0 3.5 - 4.0	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70 -		-	
3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	2 対対 技術 対	雑排水等利用システム導入の有無原の使用量削減 原の使用量削減 運用量の削減 整躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 が存在出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプスロープ下)/ビニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ボード類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 4.0 3.6 4.0 3.5	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50		-	3.6
3 LR3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	2 性質が 対	雑排水等利用システム導入の有無 原の使用量削減 使用量の削減 整築躯体等の継続使用 対料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 「能な森林から産出された木材 の再利用可能性向上への取組み 「材料の使用回避 「質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプ、スロープ、下)/ヒ、ニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ホ・ート、類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 —	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.30	-	-	3.6
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	2 性質が 対	雑排水等利用システム導入の有無原の使用量削減 開量の削減 整躯体等の継続使用 対料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプスロープ下)/ビニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ボード類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.9	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	3.6 3.9
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	2 性質が 対	雑排水等利用システム導入の有無原の使用量削減 開量の削減 整躯体等の継続使用 対料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプ スロープ 下)/ビニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ボード類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 —	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.30	-	-	3.6
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 動地球 地域現	2 性質が 対	雑排水等利用システム導入の有無原の使用量削減 開量の削減 整躯体等の継続使用 対料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプ、スロープ、下)/ヒ、ニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ホ・ート、類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.9	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33	-	-	3.6 3.9
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 動地球 地球 地球 2.1	2 性質が 対	雑排水等利用システム導入の有無 原の使用量削減 開量の削減 整躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプ スロープ 下)/ビニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ボード類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.9 3.6	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33	-	-	3.6 3.9
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 地球活 地域到 2.1 2.2	2 資別 付別 を 対 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	雅排水等利用システム導入の有無 「の使用量削減 「用量の削減 「無難ないないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプ スロープ 下)/ビニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ボード類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.9 3.6 5.0 3.0 - 3.9 3.6	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50	-	-	3.6 3.9
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 地球活 地域到 2.1 2.2	2 資は が	雅排水等利用システム導入の有無 原の使用量削減 開量の削減 築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 シアラへの負荷抑制	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプ スロープ 下)/ビニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ボード類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.9 3.6 5.0 3.0 3.5	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25	-	-	3.6 3.9
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 地球活 地域到 2.1 2.2	2 資付 が	雅排水等利用システム導入の有無 原の使用量削減 開量の削減 整築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・ の配慮 ・ ないでは、 ・ の配慮 ・ でいた。 ・ ではいた。 ・ でいた。 ・ でいたいた。 ・ でいた。 ・ でいた。 ・ でいた。 ・ でいた。 ・ でいた。 ・ でいた。 ・ でいたいた。 ・ でいた。 ・ でいたいたいたいた。 ・ でいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいた	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプ スロープ 下)/ビニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ボード類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.9 3.6 5.0 3.0 3.5 3.6 5.0 3.0	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25	-	-	3.6 3.9
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 地球活 地域到 2.1 2.2	2 資別 付別 を 対 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	雅排水等利用システム導入の有無 原の使用量削減 開量の削減 築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 間能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・ ・ の配慮 ・ ででは、 ・ では、 ・ で	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプ、スロープ、下)/ヒ、ニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ホ・ート、類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3 LCCO2=75% ガス設備がなく大気汚染物質を全く発生しない	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.9 3.6 5.0 3.0 3.5 3.0 3.5	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25	-	-	3.6 3.9
3 LR3 1	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 地球活 地域到 2.1 2.2	2 資付 が	雅排水等利用システム導入の有無 の使用量削減 用量の削減 築躯体等の継続使用 対料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 間能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・の配慮 ・ の配慮 ・ の配慮 ・ で配慮 ・ で	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプ スロープ 下)/ビニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ボード類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.9 3.6 5.0 3.0 3.5 3.0 5.0	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25	-	-	3.6 3.9
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 地域班 2.1 2.2 2.3	2 資は が	雅排水等利用システム導入の有無 原の使用量削減 運用量の削減 薬躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプ、スロープ、下)/ヒ、ニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ホ・ート、類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3 LCCO2=75% ガス設備がなく大気汚染物質を全く発生しない	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.9 3.6 5.0 3.0 3.5 3.0 3.5 3.0 3.0 3.0	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25	-		3.6 3.9 3.6
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 數地球 2.1 2.2 2.3	生 村 既 躯 持 部 質 有 フ 1 2 3 境 ・ 位 5 3 4 へ 6 3 3 4 4 へ 6 3 3 4 4 へ 6 3 3 4 4 へ 6 3 3 4 4 へ 6 3 3 4 4 へ 6 3 3 4 4 へ 6 3 3 4 4 へ 6 3 3 4 4 へ 6 3 3 4 4 へ 6 3 3 4 4 へ 6 3 3 4 4 へ 6 3 3 4 4 へ 6 3 3 4 4 へ 6 3 3 4 4 へ 6 3 3 4 4 へ 6 3 3 4 4 へ 6 3 3 4 4 \Delta 4 4 \Delta 4 4 \Delta 4 4 4 \Delta 4 4 4 4 4	雑排水等利用システム導入の有無 原の使用量削減 運用量の削減 運築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 への配慮 の配慮 一・次 で、よりでは で、まりでは で、	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプ、スロープ、下)/ヒ、ニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ホ・ート、類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3 LCCO2=75% ガス設備がなく大気汚染物質を全く発生しない	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.9 3.6 5.0 3.0 3.5 3.0 3.0 3.0 5.0 3.0 3	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33	-	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.6 3.9
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 數地球 2.1 2.2 2.3	2 資料存体 体 続材含害 コープ 3 境化 へ 5 競域 1 2 3 4 へ 音	雅排水等利用システム導入の有無 の使用量削減 開量の削減 築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 間能な森林から産出された木材 の再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 への配慮 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 への配慮 ・シフラへの負荷抑制 雨水排水負荷低減 汚水処理負荷抑制 交通負荷抑制 交通負荷抑制 交通負荷抑制 交通し荷抑制 を棄物処理負荷抑制 の配慮 振動・悪臭の防止	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプ、スロープ、下)/ヒ、ニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ホ・ート、類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3 LCCO2=75% ガス設備がなく大気汚染物質を全く発生しない	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.9 3.6 5.0 3.0 3.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40	-		3.6 3.9 3.6
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 數地球 2.1 2.2 2.3	2 資料存体 体 続材含害 コープ 3 境化 へ 5 競域 1 2 3 4 へ 音	雑排水等利用システム導入の有無 原の使用量削減 運用量の削減 運築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 への配慮 の配慮 一・次 で、よりでは で、まりでは で、	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプ、スロープ、下)/ヒ、ニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ホ・ート、類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3 LCCO2=75% ガス設備がなく大気汚染物質を全く発生しない	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.9 3.6 5.0 3.0 3.5 3.0 3.0 3.0 5.0 3.0 3	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33	-		3.6 3.9 3.6
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 數地球 2.1 2.2 2.3	生性材 既 躯 持 部 質 有 フ 1 2 3 環 様 経 1 2 3 4 へ 音 1 3 環 化 へ 5 洗 環 イ へ 音 1 3 ま 4 本 4 本 4 も 4 も 4 も 4 も 4 も 4 も 4 も 4 も	雅排水等利用システム導入の有無 の使用量削減 開量の削減 築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 間能な森林から産出された木材 の再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 への配慮 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 への配慮 ・シフラへの負荷抑制 雨水排水負荷低減 汚水処理負荷抑制 交通負荷抑制 交通負荷抑制 交通負荷抑制 交通し荷抑制 を棄物処理負荷抑制 の配慮 振動・悪臭の防止	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプ、スロープ、下)/ヒ、ニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ホ・ート、類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3 LCCO2=75% ガス設備がなく大気汚染物質を全く発生しない	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.9 3.6 5.0 3.0 3.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40	-		3.6 3.9 3.6
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 數地球 2.1 2.2 2.3	生性材既躯躯 持部質有フェーク 現暖境大温地 1 2 3 4 へ音 1 2外温環大温地 1 2 3 4 へ音 1 2	雅排水等利用システム導入の有無 の使用量削減 開量の削減 築躯体等の継続使用 対料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 ではな森林から産出された木材 の再利用可能性向上への取組み が対象の使用回避 できまない材料の使用 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 が決済を関係である。 いれば、 でのには である。 いれば、 でのには である。 いれば、 でのには である。 いれば、 でいた。 では、	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプ、スロープ、下)/ヒ、ニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ホ・ート、類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3 LCCO2=75% ガス設備がなく大気汚染物質を全く発生しない	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.9 3.6 5.0 3.0 3.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40	-		3.6 3.9 3.6
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染物 3.1 3.2 數地球 2.1 2.2 2.3 周辺 3.1	生材既躯躯 持部質有フェータ 外温環大温地 1 2 3 4 4 6 1 2 3 4 4 6 1 2 3 4	雅排水等利用システム導入の有無 の使用量削減 開量の削減 築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 の配慮 の記慮 が決別 では、	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプ、スロープ、下)/ヒ、ニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ホ・ート、類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3 LCCO2=75% ガス設備がなく大気汚染物質を全く発生しない	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.9 3.6 5.0 3.0 3.5 3.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	-		3.6 3.9 3.6
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染物 3.1 3.2 數地球 2.1 2.2 2.3 周辺 3.1	生 村 既 躯 持 部 質 有 フ	雅排水等利用システム導入の有無 の使用量削減 理解ないの使用量削減 要躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 間能な森林から産出された木材 の再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・シフラへの負荷抑制 ・アンラへの負荷抑制 ・アンラへの負荷抑制 ・アンラへの負荷抑制 ・アンラへの負荷抑制 ・アンラへの負荷抑制 ・アンラへの負荷抑制 ・アンラへの負荷抑制 ・アンラへの負荷抑制 ・アンラへの負荷抑制 ・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプ、スロープ、下)/ヒ、ニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ホ・ート、類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3 LCCO2=75% ガス設備がなく大気汚染物質を全く発生しない	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.9 3.6 5.0 3.0 3.0 5.0 3.0 3.0 5.0 3.0 3	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	-		3.6 3.9 3.6
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染物 3.1 3.2 數地球 2.1 2.2 2.3 周辺 3.1	生性材 既 躯 持 部 質 有 フ	雅排水等利用システム導入の有無 の使用量削減 理解体等の継続使用 対料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 ではな森林から産出された木材 の再利用可能性向上への取組み が対象の使用回避 できまない材料の使用 が対象を含まない材料の使用 が対象を含まない材料の使用 が対象を含まない材料の使用 の配慮	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプ、スロープ、下)/ヒ、ニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ホ・ート、類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3 LCCO2=75% ガス設備がなく大気汚染物質を全く発生しない	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.9 3.6 5.0 3.0 3.5 3.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	-		3.6 3.9 3.6
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染物 3.1 3.2 數地球 2.1 2.2 2.3 周辺 3.1	生性材既躯躯 持部質有フロ 2 3環化へ気熱域1 2 3 4 へ音1 2 3 害1 2対けりのでする対している対している対している対しているはいる <th< td=""><td>雅排水等利用システム導入の有無 の使用量削減 無量の削減 無難躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 消火剤 発泡するまない材料の使用 が強 での配慮 の配慮 を決 での配慮 の配慮 の配慮 の配慮 を決 での配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 を決 での配慮 の配慮 の配慮 の配慮 を決 でので に で のので に に のので に に のので に に のので に に に のので に に に に</td><td>電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプ、スロープ、下)/ヒ、ニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ホ・ート、類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3 LCCO2=75% ガス設備がなく大気汚染物質を全く発生しない</td><td>3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.9 3.6 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0</td><td>0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25</td><td>-</td><td></td><td>3.6 3.9 3.6</td></th<>	雅排水等利用システム導入の有無 の使用量削減 無量の削減 無難躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 消火剤 発泡するまない材料の使用 が強 での配慮 の配慮 を決 での配慮 の配慮 の配慮 の配慮 を決 での配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 を決 での配慮 の配慮 の配慮 の配慮 を決 でので に で のので に に のので に に のので に に のので に に に のので に に に に	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプ、スロープ、下)/ヒ、ニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ホ・ート、類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3 LCCO2=75% ガス設備がなく大気汚染物質を全く発生しない	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.9 3.6 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	-		3.6 3.9 3.6
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染物 3.1 3.2 數地域現 2.1 2.2 2.3 周辺現 3.1 3.2	生材既躯躯 持部質有フロス外温環大温地 スター環騒 1 2 3 ま	雅排水等利用システム導入の有無 の使用量削減 開量の削減 築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプ、スロープ、下)/ヒ、ニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ホ・ート、類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3 LCCO2=75% ガス設備がなく大気汚染物質を全く発生しない	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.9 3.6 5.0 3.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	-		3.6 3.9 3.6
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染物 3.1 3.2 數地域現 2.1 2.2 2.3 周辺現 3.1 3.2	生性材既躯躯 持部質有フロ 2 3環化へ気熱域1 2 3 4 へ音1 2 3 害1 2対けりのでする対している対している対している対しているはいる <th< td=""><td>雅排水等利用システム導入の有無 の使用量削減 開量の削減 発躯体等の継続使用 料以外におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・システムの負荷抑制 ・変通りでは、 ・変速を、ののでは ・システムの負荷抑制 ・変通りでは、 ・変速を、ののでは ・システムの負荷抑制 ・変通りでは、 ・変速を、ののでは ・システムの負荷抑制 ・変速を、ののでは ・システムの負荷抑制 ・変速を、ののでは ・システムの負荷抑制 ・変速を、ののでは ・変速を、のがは ・変速を、変速を、のがは ・変速を、のがは ・変速を、変速を、変速を、変速を、変速を、変速を、変速を、変速を、変速を、変速を、</td><td>電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプスロープ・ア)/ピニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ポード類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3 LCCO2=75% ガス設備がなく大気汚染物質を全く発生しない 駐輪駐車場・荷捌き車両スペースの確保、複数出入口の確保</td><td>3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.9 3.6 5.0 3.0 3.0 5.0 3.0 3.0 5.0 3.0 3</td><td>0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25</td><td>-</td><td></td><td>3.6 3.9 3.6</td></th<>	雅排水等利用システム導入の有無 の使用量削減 開量の削減 発躯体等の継続使用 料以外におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・システムの負荷抑制 ・変通りでは、 ・変速を、ののでは ・システムの負荷抑制 ・変通りでは、 ・変速を、ののでは ・システムの負荷抑制 ・変通りでは、 ・変速を、ののでは ・システムの負荷抑制 ・変速を、ののでは ・システムの負荷抑制 ・変速を、ののでは ・システムの負荷抑制 ・変速を、ののでは ・変速を、のがは ・変速を、変速を、のがは ・変速を、のがは ・変速を、変速を、変速を、変速を、変速を、変速を、変速を、変速を、変速を、変速を、	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプスロープ・ア)/ピニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ポード類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3 LCCO2=75% ガス設備がなく大気汚染物質を全く発生しない 駐輪駐車場・荷捌き車両スペースの確保、複数出入口の確保	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.9 3.6 5.0 3.0 3.0 5.0 3.0 3.0 5.0 3.0 3	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	-		3.6 3.9 3.6
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染物 3.1 3.2 數地域現 2.1 2.2 2.3 周辺現 3.1 3.2	生性材既躯躯 持部質有フロ 2 環化へ気熱域1 2 3 4 へ音1 2 3 害1 2 3 害1外温環大温地 2 3 4 へ音1 2 3 害1大温地 2 3 4 へ音1 2 3 害1	雅排水等利用システム導入の有無 の使用量削減 無難水等利用システム導入の有無 の使用量削減 無難水等の継続使用 対料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 ・シアラへの負荷抑制 雨水排水負荷低減 汚水処理負荷抑制 交通負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制 交通負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制 の配慮 振動・悪臭の防止 騒音 振動 悪臭 砂塵、日照阻害の抑制 風害の抑制 即度の抑制 回路の抑制 即度の抑制 回路の抑制 即度の抑制 の地慮 を表現のの対象	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプスロープ・ア)/ピニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ポード類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3 LCCO2=75% ガス設備がなく大気汚染物質を全く発生しない 駐輪駐車場・荷捌き車両スペースの確保、複数出入口の確保	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.9 3.6 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	-		3.6 3.9 3.6
3 LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染物 3.1 3.2 數地域現 2.1 2.2 2.3 周辺現 3.1 3.2	生性材既躯躯 持部質有フロ 2 環化へ気熱域1 2 3 4 へ音1 2 3 害1 2 3 害1外温環大温地 2 3 4 へ音1 2 3 害1大温地 2 3 4 へ音1 2 3 害1	雅排水等利用システム導入の有無 の使用量削減 開量の削減 発躯体等の継続使用 料以外におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・システムの負荷抑制 ・変通りでは、 ・変速を、ののでは ・システムの負荷抑制 ・変通りでは、 ・変速を、ののでは ・システムの負荷抑制 ・変通りでは、 ・変速を、ののでは ・システムの負荷抑制 ・変速を、ののでは ・システムの負荷抑制 ・変速を、ののでは ・システムの負荷抑制 ・変速を、ののでは ・変速を、のがは ・変速を、変速を、のがは ・変速を、のがは ・変速を、変速を、変速を、変速を、変速を、変速を、変速を、変速を、変速を、変速を、	電炉鋼材(大梁) 断熱材(ランプスロープ・ア)/ピニル床(管理室床等)/砕石(地業)/ポード類(天井) 解体時に容易に分別可能な工法、再利用可能なユニットを採用 防水工事のプライマー ODP=0、GWP=3 LCCO2=75% ガス設備がなく大気汚染物質を全く発生しない 駐輪駐車場・荷捌き車両スペースの確保、複数出入口の確保	3.0 4.2 4.0 3.0 5.0 5.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 - 3.9 3.6 5.0 3.0 3.0 5.0 3.0 3.0 5.0 3.0 3	0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	-		3.6 3.9 3.6

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称

(仮称)DPL久喜宮代新築工事

BEE

2.1

BEEランク

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア

3.9

2.6

6.5



重点項目の各スコアーの合計点

がんばろう 6.0未満

良い

6.0以上

非常によい 6.8以上





すばらしい 8.0以上









3 重点項目についての環境配慮概要

(1)ライフサイクルCO2の削減

スコア平均

3.9

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策

1. 地球温暖化への配慮

スコア

3.9

2.6

2.0

3.0

3.0

適切な駐車駐輪施設の確保や複数出入口の計画により周辺道路への渋滞緩和へ配慮

(2) 緑の保全・創出

スコア平均

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)

1. 生物環境の保全と創出

スコア

Q3 室外環境(敷地内)

3.2 敷地内温熱環境の向上

スコア

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

スコア

- ・50%以上を示す規模の外構緑化を行っている
- ・緑地を確保し地表面温度や地表面近傍の気温上昇を抑制している
- ・敷地内の舗装面積を小さくするよう努めている
- ・建物の高さ、形状、建築物間の隣棟間隔等の工夫

:入力欄